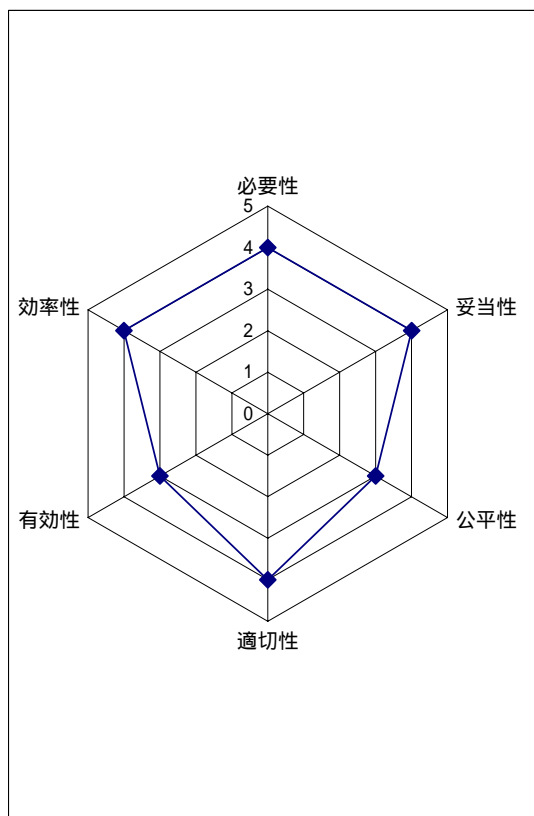


事務事業名	男女共同参画推進事業	担当部局	市長部局 市長公室
基本目標	市民の誇りとなる対話と協調の都市づくり(自治・都市づくり)	担当課名	女性政策室
施策体系	市民参加型社会の創造(男女共同参画社会の形成)	担当係名	
施策	男女共同参画を推進する		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	男女が互いに人権を尊重し、責任も分かち合い、性別にとらわれることなく個性と能力を發揮できる豊かな社会を実現するために、性別役割分担意識の解消や女性の参画の促進などを目的とした事業を推進する。		
事業の期間(開始/終了)	平成8年 4月 / 99年 9月		
根拠法令、条例、規則など	男女共同参画社会基本法 結城市男女共同参画基本計画		
事業が対象としている人(モノ)	市民		
具体的な活動内容	男女共同参画団体別学習会を開催する 男女共同参画職員研修会を開催する 男女共同参画推進講座を開催する 男女共同参画後期基本計画を策定する		
事業の成果	多くの市民に男女共同参画について啓発し、理解を深めていただくことができた。 職員の男女共同参画に関する知識の取得と意識の向上を図ることができた。 男女共同参画の知識と啓発方法を学習することにより、男女平等の視点によるリーダーの養成をすることができた。 今後5年間の結城市の男女共同参画事業推進に関わる計画を策定することができた。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い 現在、男女共同参画の意味や意義・必要性はまだ充分市民に理解され、浸透しているとは言えず、少子・高齢型社会の進行など、社会情勢の変化に伴う新たな課題もあり、今後も積極的にこの事業を推進する必要がある。
妥当性	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である 男女共同参画政策はあらゆる行政施策を男女平等の視点で見直しを遂行する政策であることから、国・県などの関係機関との連携により推進しており、現状においては、行政の関与は不可欠である。
公平性	3 どちらとも言えない 各種事業を実施するうえで、公募をするなど幅広い市民の参加に留意しているが、多様な人々に男女共同参画を理解していただくためには、男性や今まで働きかけの少ない層を対象にした取り組みが必要である。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 「ゆうき女性会議」(市民団体)と市職員で構成される「女性行政ワーキング会議」とが協働で市民への啓発方法について学習するなど、市民と行政とが適切な役割分担により推進している。
有効性	3 どちらとも言えない 平成17年度に実施した市民アンケート・ヒアリングの結果をみても、まだ、男女共同参画が理解されて、男女平等であるとは言えない状況である。 (例)市民アンケート「結城市男女共同参画基本計画の認知度調査結果 35.1%の人は計画を知らない」
効率性	4 効率性は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている) ビーチボールバレー大会の市民自主運営に向けての働きかけや後期基本計画策定委託料を極力削減するなど、常に効率化を考慮している。

総合評価	事業をするにあたって、参加者が一部の人達になってしまったり、男性の参加者が少ないなど、参加者の構成が固定化しつつあり、今後、男女共同参画に対する無関心層への働きかけが必要とされる。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	改善(質の充実・効率化)	中長期的方向	改善(質の充実・効率化)
	説明	プランを確実に実施するうえで、実施状況調査及び施策評価は不可欠である。出来る限り目標数値を設定し、誰にでも取り組み状況が実感できるようにする必要がある。また、各種施策を推進していく中で、男女平等の視点を入れていくよう配慮し、市民(団体)と行政が協働で効果的な男女共同参画社会の実現を目指す。			
決定権者判断	決定内容	改善(質の充実・効率化)			
	説明	男女共同参画社会を目指す本市にとって重要な事業であり今後も継続実施する。平成18年度から後期基本計画がスタートすることから、その進行管理に留意すること。また、事業への参画者が固定化しつつあることから、各階各層に対し働きかけをするなど幅広い市民参加が得られるよう検討する。			